

『たしかめよう！』 5歳児 10月 にじ組 富雄南こども園



エピソード

園外保育で霊山寺に行き、クラスの4つのグループに分かれて、ドングリを拾いました。

拾ったドングリはグループ用のビニール袋に入れて園までもち帰りました。

園に戻ると「いっぱい拾えたね」「そちのグループのも見せて」と袋の中をのぞき込んだり、グループ同士で見せ合ったりする姿がありました。そのやりとりの中で「どのグループが一番たくさん拾えたのか比べてみよう」という声が上がリ、確かめることにしました。

早速確かめ方法を相談する子ども達。「袋を横に並べて比べる」「ドングリの数を数える」「おもいもの時みたいに重さを量る」などいろいろな意見が出ました。相談の結果、体重計を使い、グループごとにドングリの重さを量ることになりました。

順番にドングリをのせながら、体重計に表示される数字をのぞき込み、驚きや喜びの声を上げながら、重さ比べを楽しみました。

子どもの育ちや学び

- ・グループの友達と協力してドングリを集める。
- ・ドングリの数量を比べる方法を友達と話し合っ
て決める。
- ・サツマイモの大きさ比べをした方法をドングリの
量比べても活用している。
- ・体重計の数字を見て、数の大小が分かり、それ
ぞれのグループの結果を楽しみにしている。

保育者の思い

・わくわく畑でのいもほりの後に、収穫したサツマイモの数を数えたり、大きさや重さを比べたりした経験をきっかけに、数や量に興味をもって生活する姿があります。ドングリでも数量を調べてみようという意欲をもち、友達同士で相談して方法を考える姿に成長を感じたので、このエピソードを選びました。

・子ども達が興味をもったことをすぐに確かめたり、試したりできるような道具や場所などの環境や時間の確保を十分に行っていきたいです。

家庭だったら・・・

- ・おやつ時間に…
「(兄弟や家族、友達などで)同じ数になるように分けてね」などお手伝いをする。
- ・お料理される時に…
一緒に水や食材を計量する。
- ・お買い物などで
食材の大きさや量を一緒に比べる。

などの身近な経験が、数量などへの関心や感覚につながっていくかもしれないですね。